

## Si-R G211 V20.14 変更内容一覧

### □修正内容

No.	影響範囲	内容
1	V20.00～V20.13	自動回復可能な場合にもエラーログerror code[85ff0020]が出力される。
2	V20.00～V20.13	ether 1 グループで、vlan idが0のパケットを受信すると、エラーログ0xd4000001 を出力し、装置が再起動する場合がある。
3	V20.01～V20.13	管理ポータルへログイン後、初回タスク取得時において、定周期実行タスクのタスク受付の返信に不要な待ち時間が発生し、サービスの開始が遅れる。
4	V20.01～V20.13	管理ポータルから「show tech-support」コマンドを実行すると、出力情報が途中で終了する場合がある。
5	V20.00～V20.13	エンドポイントリスト取得時、装置がシステムダウンすることがある。
6	V20.00～V20.13	clear bridgeコマンドを実施しても show bridgeコマンドで学習テーブル内のエントリが消去されずに残る場合がある。
7	V20.00～V20.13	IPv6接続時、Neighbor Cacheエントリの保持時間切れのタイミングでパケットの内部破棄が発生することがある。
8	V20.00～V20.13	シェーピングや帯域制御機能使用時に、装置無応答となることがある。
9	V20.00～V20.13	IPsec接続が切断された後の再接続に失敗し、通信復旧に時間がかかることがある。
10	V20.00～V20.13	装置上よりsshクライアントコマンドにてオプション指定でSSH接続を行うと装置が再起動する。
11	V20.00～V20.13	接続先監視を設定してIPsec/IKE SAが確立後、無通信状態が継続した状態でIPsec SAの更新が行われると装置が再起動する場合がある。(down code [d4000001:00000000]発生)